

ベトナム国ナムザン郡少数民族地域における住民主体による地域活性化のための人材育成事業（2016年～2020年）

少数民族地域の住民主体による“農村開発モデル”

- **実施団体：**
公益財団法人 国際開発救援財団
- **対象国・地域：**
ベトナム（クアンナム省ナムザン郡）
- **現地カウンターパート**
ナムザン郡人民委員会



- **協力内容：**
 - ・地域振興促進リーダーの人材育成
 - ・地域住民主体による地域振興を促進する仕組み及び、官民による地域振興支援体制の構築
 - ・住民主体による地域資源を活用した開発事例の実現
 - ・情報発信とマーケティング体制の構築

■ 団体のこれまでの取り組み：

2001年からナムザン郡タビン社とカトウー族と共に進めてきた地域開発の取り組みが実を結び、2012年から住民のイニシアティブで進める観光開発（コミュニティ・ベースド・ツーリズム）による地域振興を図るまでになった。これを更に展開すべく、本制度を通じて2016年から取り組んできた。

■ 事業実施の背景：

ベトナムの山岳少数民族は地理的・文化的条件のために、生計状況において大幅に発展から取り残されている。特に中部地域ではカトウー族をはじめとする少数民族の生活を向上させるための有効な施策が少ない。また、マス・ツーリズムや外部資本の介入により却って地域の伝統文化や自然を損なう結果を招きつつある。

課題と成果

課題

- ・地域住民が主体となって進める観光開発による地域振興を、ナムザン郡全域及び周辺山岳地域に展開するための**人材育成と組織の強化が課題**。

成果

- ・ナムザン郡で少数民族の包括的な地域振興を進めるための**“農村開発モデル”**（人材育成、官民による支援体制、マーケティング体制、地域資源開発手法）を構築！
- ・地域資源を活用した**特産品の開発数は120品目**を超えその内約40品目が定期販売となる等、郡内での**観光と産業の連携促進、収入増加**に成果をあげた。

事業の波及効果



ナムザン郡 “農村開発モデル”を9郡へ展開！

- ・地域住民が主体となり官民連携の下、地域資源をフル活用した**コミュニティ・ベースド・ツーリズムサイト**を構築した同事業の手法はクアンナム省人民委員会等によって**“農村開発モデル”**として他省や他郡に紹介され郡外へ波及。ASEAN諸国の国際会議でも事例が紹介されるなど、高く評価されている。
- ・引き続き、「クアンナム省山岳少数民族地域における地域資源を活用した持続的な農村産業促進のための基盤構築事業」（フェーズ2）にて、上記のナムザン郡 **“農村開発モデル”**を基盤とし**9郡へ展開中！**